

## 2. 平成18年度補正予算による主な事業のポイント

### ・災害防止対策等関係（一般公共事業費等）

#### 【福島河川国道事務所】

（道路関係）

- ・災害発生時の緊急輸送路である国道13号“**東栗子トンネル**”（福島市）において換気所の耐震補強などを実施し、安全性の向上を図ります。
- ・緊急輸送路である国道4号の災害発生時における機能確保を図るため“**大仏橋**”（福島市）の防錆を実施し道路施設の保全を図ります。

#### 【郡山国道事務所】

（道路関係）

- ・通行不能区間の解消により、地域間交流・連携の強化や災害発生時などの信頼性、安全性の向上が期待される国道289号“**甲子道路**”（下郷町～西郷村）において、平成20年度の全線供用を目指し、事業の推進を図ります。
- ・郡山市街部の渋滞の解消や災害発生時の緊急輸送路の強化、交通安全の確保を図る地域高規格道路、国道4号“**あさか野バイパス**”（郡山バイパス）（須賀川市～本宮市）において、針生地区の立体化（仮称：針生高架橋）の平成18年度内の暫定2車線供用に向け、事業の推進を図ります。
- ・災害発生時の緊急輸送路である国道49号“**中山トンネル**”（郡山市～猪苗代町）において、トンネル防災設備の更新を図ります。

#### 【磐城国道事務所】

（道路関係）

- ・大規模災害時の救助活動や、緊急物資輸送に不可欠な緊急輸送道路を確保するため、一般国道6,49号“**三和・田之網地区**”（いわき市）において、防災対策工事を実施し、安全性の向上を図ります。

## ・公共事業の発注平準化措置（国庫債務負担行為）

### 【福島河川国道事務所】

（河川関係）

- ・阿武隈川水系における安全度向上を図るため、“**荒川遊砂地**”（福島市）  
“**松川流路工**”（福島市）“**松川遊砂地**”（福島市）において床固整備を実施し事業の推進を図ります。

（道路関係）

- ・災害発生時の緊急輸送路としての機能強化を図る国道115号“**阿武隈東道路**”（相馬市）において、事業の推進を図ります。
- ・災害発生時の緊急輸送路としての機能強化を図る国道4号“**本宮拡幅**”（本宮市～安達郡大玉村）において、平成19年度内の完成供用を目標に事業の推進を図ります。

### 【郡山国道事務所】

（道路関係）

- ・交通混雑の緩和や災害発生時の緊急輸送路の強化を図る地域高規格道路、国道121号“**会津縦貫北道路**”（喜多方市～会津若松市）において、工事を推進し、事業の進捗を図ります。

### 【磐城国道事務所】

（道路関係）

- ・災害発生時の緊急輸送路として機能する国道6号の代替路となる国道6号“**相馬バイパス**”（相馬市～相馬郡新地町）において、平成19年度内の全線供用を目標に事業の推進を図ります。
- ・“**平鎌田交差点**”（いわき市）において、車両および歩行者等の通行の円滑化と安全を確保するため、交差点改良事業の推進を図ります。